



むらさき朝会 協力


今日8日(木)は、むらさき朝会でした。今月の生活目標は「友だちと協力して学校生活を送ろう」です。私の方からは、子供たちに次のような話をしました。

協力の意味は、「①力を合わせる ②話し合いをしてまとめる ③かなう」という意味があることを伝えました。そして、「努力は足し算、協力はかけ算」であることを話しました。例えば、本を一日3ページずつ読むと、 $3+3+3=9$ ページとなり、100日間続けると300ページになります。これは、自分の力となり、「🔴帯西レッド」の心が伸びます。また、力を合わせる場面として、新聞係の話をしました。学級新聞を一人で作ろうとすると時間がかかります。しかし、何人かで協力して作ることで、時間が短縮されるばかりか、一人では思いつかないことも、みんなのアイデアでよりよいものが生まれます。これはみんなの力となり、「🟡帯西イエロー」の心が伸びます。このように友達と協力することで、3人が2ずつ頑張ると、 $2 \times 2 \times 2 = 8$ となっ、 $2 \times 2 \times 2 = 16$ となるのです。つまり、人数が多くなればなるほど、結果が大きくなります。しかし、かけ算の落とし穴として、一人でも協力しない人がいると、 $2 \times 2 \times 0 = 0$ となっ、さらに力を出し惜しみすると、 $1 \times 1 \times 1 = 1$ となり結果が変わりません。協力する学校にするためには、「①チームの目標をはっきりさせる ②決まったことは必ず実行する」ことが重要であることを伝えました。そのために右上図のように、チームの目標とは「学級目標」であり、その達成を目指すことや、決まったことは「学級会や当番・係活動・委員会活動、学校のきまり」であり、それらを必ず実行することが、協力する学校になることを話しました。そして、協力の意味から「力を合わせて、話し合いをして決めて、学級目標達成をかなえていこう!」と共通理解を図りました。それは、みんなで協力することが「わくわく」する学校になるからです。最後に全委員長会議の写真を見せて、各委員長の代表が月に一度校長室で、互いの委員会の進捗状況やイベント等の擦り合わせなどを行っている場面を見せました。この様子がまさに「協」の字を具現化している姿なのです。

学校・学級は、年度末を迎えます。子供たち一人一人が、学級目標を意識して実践を重ね、その達成を目指して一回り成長して欲しいと思います。

きょうりよく ひと 協力する学校にするためには

- ▶ チームの目標をはっきりさせる
- ▶ 学級目標の達成を目指す!
- ▶ 決まったことは必ず実行する
- ▶ ○学級会でできたこと
- 当番・係活動・委員会活動
- 学校のきまり




きょうりよく じっげん 協力の「協」を実現するために

ちから あ 力を合わせて

はなし あ 話し合いをして決めて

かなえていこう!

わくわくする学校

学級目標達成を

協